



東日本大震災から半年を迎えて

今年の9月11日は、アメリカ同時多発テロから10年目、東日本大震災から半年という節目の日となり、防災や安全について改めて考える特別な日となりました。特に東日本大震災では多くの人が犠牲になり、生活基盤を失い、また原子力発電所から出た放射能の汚染により、家にも戻れない人々がまだたくさんいるという厳しい状況下にあります。

「いつ起こってもおかしくない」と言われている東海大地震の震源域にある静岡県では、これまでの津波予測を大幅に見直す動きがあります。焼津でも、民間のものを含め、近くの高いビルを津波避難所にするなど、命を守るための見直しが行われています。

野いちごでは、本年度の事業計画の重点の一つに「地震防災を中心とした安全への備え」を掲げて、主に3点について取り組んでいます。①転倒防止措置、②非常食・飲料水の準備については、実施・準備が済みました。「③地震発生を想定した紙上訓練の実施」については、9月1日の防災の日に合わせて、アンケートを取らせていただきました。内容は、昨年度と同じものでしたが、基本的なこと・大切な点を改めて意識していただくという意図で実施させていただきました。

以下は、そのまとめですので、今後の参考にしてください。

- ①発災前の注意情報・予知情報の段階では、全員のお宅で、時間がかかっても迎えに来ていただけることを確認しました。
- ②注意情報・予知情報の発令が通勤・帰宅途中の場合には、迎えに出るお宅と待つお宅に分かれます。野いちごと連絡を取りながら協力していくことが大切であると思います。
- ③大規模地震の発災の時には、事情により迎えが困難と回答された方が半数ほどです。迎えに来ていただくまでの間は、職員がお預かりいたします。喫茶は基本的に福祉会館、工房は状況・時間により、工房、避難地（JA 豊田）、避難所（豊田中）での避難ということになります。
- ④連絡については、ほぼ全員が災害伝言ダイヤル 171 の利用が可能と回答していただきました。実際に9月1日に野いちごの伝言を聞いてみたという連絡もいただいています。確かな情報がない中で不安も大きくなりますので、通常の電話が通じないときには、災害伝言ダイヤルを積極的に利用しましょう。（櫻井 隆）

作業紹介：部品の組み立て



①ゴムのパッキンを取り付け
器具で奥に押し込む



②ホルダーの取り付けは
軽くつけておいて



③テーブル面で押し込み
ホルダーをパチンとはめる

お願い

ふれあい広場事業所紹介に当たって

来る16日（日）のふれあい広場では、昨年度に同様に事業所紹介のパネルを作成予定です。皆さんの生き生きとした写真も掲載したいと思いますが、個人が特定できるものもあります。使用場所も限られていますので、ご理解とご協力をお願いします。なお、不都合があれば申し出てください。

個別面接予定

個別支援計画評価、見直しの個別面接を10月初旬に実施予定です。改めて連絡いたしますが、予定に入れていただきますようよろしくお願い致します。

行事予定

- 10月16日（日） 焼津市ふれあい広場（喫茶全員と工房希望者参加）
- 10月21日（金） 中部地区ふれあいスポーツ・レクリエーション大会（シーガルドーム）
- 11月1日（火） 福祉施設総合防災訓練（行政への伝達訓練を中心として）
- 10月（未定） 静岡北特別支援学校高等部3年w君実習予定